

平成30年度

倉吉市教育行政の点検及び評価

倉吉市教育委員会

令和元年5月

目 次

はじめに	1
1 評価・公表について	2
2 評価に当たって	3
3 主な重点施策の成果	3
4 平成30年度教育方針と重点施策	5
5 重点施策の実績と評価	6
・倉吉市教育の創造	6
・学力向上の推進	7
・豊かな心とたくましい体の育成	8
・倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成	9
・家庭・地域と連携した開かれた学校づくり	10
・よりよい倉吉教育を目指して	10
・給食の充実、食育の推進	11
・地域力を育む社会教育の推進	12
・支えあう人づくり・輝くまちづくり	13
・公民館活動の推進	14
・体育・スポーツの振興	15
・文化財の保存、活用、伝承	17
・親しみ学ぶ機会の提供できる博物館	18
・豊かな心を育む図書館づくりの推進	18
6 教育委員会の主な動向	19
(1) 教育長、教育委員の在任状況	19
(2) 教育委員会の会議	19
(3) 教育委員会の開催状況	19
(4) 総合教育会議の開催状況	21
(5) 計画訪問・意見交換会・諸行事への参加	21

はじめに

平成19年6月に「教育改革関連3法」の改正が行われ、その中で、教育委員会の責任体制の明確化や体制の充実に関する規定の整備を図るため、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表をしなければならないとされました。

倉吉市教育委員会では、本市における教育の振興のための施策に関する基本的な計画として、平成23年に“くらしよし”ふるさとビジョン（第11次倉吉市総合計画）と連携した「倉吉市教育振興基本計画」を策定し、将来的な方向性や今後5年間（平成23年度～平成27年度）に重点的に取り組むべき施策を示すとともに、各年度の「倉吉市の教育方針と重点施策」と「倉吉市教育行政の点検及び評価」により進行管理をし、着実な計画の推進に努めてきました。その結果、倉吉市の教育理念「豊かな心を持ち、個性を發揮する人づくり」の実現を図るための様々な施策を展開することができました。

そして、今後、一層進む少子高齢化社会に対応する教育行政をするために、「倉吉市教育振興基本計画」の第二期（平成28年度～平成32年度）を策定いたしました。

倉吉市教育委員会としては、特に「豊かな心を持ち、個性を發揮する人づくりの推進」「魅力ある歴史・文化資源を活用した文化の振興」を政策に掲げ、「生涯学習の推進」「義務教育の充実」「文化財の保護と活用」「体育・スポーツの振興」などに重点をおきながら、誰もがいつまでも「学び続ける人づくり」を目指し「みんなが生きる喜び」をもてるような取り組みを進めていかなければなりません。

そのためには、自ら設定した教育に関する方針や施策の実現を図るために、事業等の取り組み状況を日々点検・評価を行いながら改善を図り、より充実したものにしていくことが必要です。

そこで、市民から信頼される教育行政を目指し、教育委員会や事務局の役割、事業の進捗状況等について説明責任を果たすため、重点的に取り組んだ14項目の点検・評価を行い、その結果を公表し、効果的な教育行政の推進を図るものです。そのほか、教育委員会の会議の開催などの活動状況を記載し、ここに報告書としてまとめました。

※参照

◎地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

1 評価・公表について

(1) 実施時期

点検及び評価は毎年度行うこととされており、当該年度における取り組み状況の点検・評価を年度内に行う。

(2) 評価の方法

教育委員会全般にわたり適正な教育行政の点検・評価や総合計画に掲げた目標水準の達成状況、施策の進捗状況との整合性を図りながら評価項目を策定し、評価にあたっては、審議会等に諮り、自己評価、外部評価を行う。

(3) 議会への報告

報告書を作成し議会に提出しなければならないこととされており、6月市議会に報告を行う。

(4) 一般への公表

課題を共有化しその解決を図るために広く意見を求め、より適正な評価に努めるために評価結果を市民に公表する。

(5) 各種教育関係機関の評価結果の活用

学校評価、社会教育団体、文化団体、スポーツ団体の評価結果の効果的な活用を行う。

(6) 外部の有識者等の知見の活用

○点検・評価・公表の流れ

教育委員会事務局の組織マネジメント(PDCA)及び業務評価システムの確立

P計画 → D実施 → C検証(中間評価) → A実行 → C評価(自己・最終)

4月 倉吉市の教育方針と重点施策を基にした各課の基本方針と実施計画を策定する



9月 重点施策の実施計画の進捗状況のチェックを中間評価とする。



2月 重点施策の実施状況を各課で自己評価をする。



3月 各課の担当する審議会等に自己評価結果を提出し、外部評価を最終評価とする。



4月 教育委員会定例会で業務評価として協議し、市議会に提出し、6月市議会に報告する。

市民へは、リーフレット、ウェブページ、市の広報誌等を活用して公表する。

2 評価に当たって

第11次倉吉市総合計画における、施策と教育委員会事務局で取り組んでいる施策との整合性を図りながら総合的な観点での評価に心がけた。評価に当たっては、平成30年度各事業の施策に示した目標に向かって、取り組むべき事業ごとに「目標」「実績」「成果」「課題」の観点に分けて行うこととした。また、評価項目については特に焦点化をはかり点検・評価の重点化を図ることとした。

○ 評価基準

平成24年度評価より評価基準を見直し、目標を上回る成果が上がった場合をA評価とした。目標値達成率を目安に、「成果」欄には、実績によって得られた成果を中心に評価を行った。

成果	判断基準
A	当初の目的・目標を上回る成果が上がった
B	当初の目的・目標を達成した
C	当初の目的・目標を下回る成果に止まった
D	当初の目的・目標を大きく下回った

3 主な重点施策の成果

区分 施策と担当課	施策数	成果				総合
		A 目的・目標を上回る	B 目的・目標を達成	C 一部の進展に止まった	D 目的・目標を下回る	
倉吉市教育の創造						
教育総務課	3		3			B
学校教育課	1			1		
学力向上の推進						
学校教育課	4	2	2			B
豊かな心の育成とたくましい体の育成						
学校教育課	4	1	3			B
倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成						
学校教育課	4	3	1			A
家庭・地域と連携した開かれた学校づくり						
学校教育課	3	2	1			A
よりよい倉吉教育を目指して						
教育総務課	1	1				B
学校教育課	2		2			
給食の充実、食育の推進						
学校給食センター	3	2	1			A

施策と担当課	施策数	A	B	C	D	総合
地域力を育む社会教育の推進						
生涯学習課	2	2				A
支えあう人づくり・輝くまちづくり						
生涯学習課	3		3			B
公民館活動の推進						
生涯学習課	4	2	2			B
体育・スポーツの振興						
生涯学習課	5		5			B
文化財の保存、活用、伝承						
文化財課	2		2			B
親しみ学ぶ機会の提供できる博物館						
倉吉博物館	3	2	1			A
豊かな心を育む図書館づくりの推進						
市立図書館	3	1	2			B
計	47	18	28	1		

平成30年度 倉吉市の教育方針と重点施策

～行きたい学校・
帰りたい家庭・
住みたい地域～

教育基本法

- ・人格の完成と、社会の形成者としての国民の育成
- 学校教育法
- 社会教育法
- 図書館法
- 文化財保護法
- 博物館法

【教育理念】

豊かな心を持ち、個性を発揮する人づくり

【教育目標】

- ・幅広い知識を身に付け、豊かな心を培い、健やかな体を養う。
- ・個性を尊重し、創造性を培い、自律性・自主性を養う。
- ・社会の一員として、参画し寄与する態度を養う。
- ・自然を大切にし、伝統と文化を尊重する態度を養う。
- ・郷土を愛し、他人や他の地域を尊重する態度を養う。

“くらしよし” ふるさとビジョン

【将来都市像】

愛着と誇り 未来いきいき

みんなでつくる倉吉

【教育・文化・コミュニティ】

活力に満ち、豊かな心と文化が息づくまち
倉吉市まち・ひと・しごと創生総合戦略

倉吉市教育の創造

- ・第2期倉吉市教育振興基本計画の進捗よく管理（5年計画の3年目）
- ・倉吉市震災復興計画の推進（平成28年度～平成31年度 3年5ヶ月）
- ・倉吉市教育委員会の活性化（教育に関する事務の点検・評価の推進、総合教育会議、学校・公民館訪問）
- ・「倉吉市立小学校適正配置推進計画」に基づく学校再編の推進（各地区協議会での課題の明確化とその対応）
- ・教育環境の整備充実（明倫小屋根修繕、高城小特別支援学級エアコン設置、小中学校教育用LANシステム、教材備品整備）

学校教育基本方針

豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成
～自ら学び、たくましく生きる～

社会教育基本方針

倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進
～いつでも どこでも だれでも とともに学び 地域力を育む～

学力向上の推進

- ・学力向上推進支援（小・中連携教育の推進、合同研修会）
- ・わかる授業のための授業改善（教職員の指導力向上）
- ・細やかな指導を行う体制づくり（少人数学級・教員加配）
- ・小学校外国語教科化の対応 ALT配置 ICT活用（研修会）

地域力を育む社会教育の推進

- ・学習内容の充実、学習成果の還元（人材銀行、生涯学習講座）
- ・専門・実践的な高等教育の提供（鳥大、看護大・短大等連携）
- ・成人教育の推進（成人式実行委員会等）

豊かな心とたくましい体の育成

- ・道徳教育・人権教育の充実
- ・特別活動の充実（乳幼児ふれあい事業）
- ・キャリア教育の充実（職場体験）
- ・いじめを許さない学校体制づくり
- ・問題行動、不登校の未然防止・早期対応（合同研修会）
- ・相談体制の充実（教育心理士育成講座）
- ・読書活動・情報教育の推進
- ・学校体育、健康教育及び学校保健、安全教育の充実

支えあう人づくり・輝くまちづくり

- ・地域を支える人づくりの推進（中高生の活躍、地域発掘）
- ・青少年の健全育成と青少年団体の育成支援
- ・次世代育成のための体験活動の推進（放課後子ども教室）

公民館活動の推進

- ・学習の質の向上と学習成果の活用（地域連携、研究部会）
- ・人づくり・地域づくりの推進（公民館研究指定事業）
- ・安全安心な施設整備（灘手・高城空調、西郷・成徳昇降機）

倉吉に誇りと愛着を持つ子どもの育成

- ・倉吉独自の教材の活用（くらしよし風土記等の活用）
- ・地域の人・もの・ことがらに触れる教育活動の推進
- ・倉吉らしさを取り入れた教育活動の実施（土曜授業）

体育・スポーツの振興

- ・市民のスポーツ活動支援（市民体育大会、全国大会補助他）
- ・体育施設の整備充実（野球場バックスクリーン・照明灯他）
- ・大規模スポーツ大会支援（クイック、自転車、駅伝、相撲他）

家庭・地域と連携した開かれた学校づくり

- ・地域学校委員会の充実 地域学校協働活動推進事業
- ・学校支援ボランティアの拡充

有形・無形の歴史的な資産の保存と活用

- ・伝建地区の災害復旧・保護（修理・修景事業）
- ・指定文化財の整備・保護（小川家・倉吉淀屋トイレ）
- ・埋蔵文化財の発掘調査（大谷工業団地・両長谷ほか）

よりよい倉吉教育をめざして

- ・特別支援教育の充実（元気はつらつプラン）
- ・教科指導法研究事業（多層指導モデルの活用と体作り運動の推進）
- ・幼保小連携の充実（教育課程の接続）
- ・家庭教育に関する就学前からの継続的な保護者啓発・支援
- ・教育助成の充実（就学援助事業の周知と適切な執行）

親しみ学ぶ機会の提供できる博物館

- ・郷土の文化芸術、伝統文化を学べる場の提供
- ・トリエンナーレ美術賞（前田寛治大賞展）・郷土刀展
- ・安全安心な施設整備維持管理 非常用蓄電池交換・空調設備

学校給食の充実、食育の推進

- ・栄養教諭等による食に関する指導、食物アレルギー対応の推進、衛生管理の徹底

豊かな心を育む図書館づくりの推進

- ・図書館資料の収集・提供、レファレンスサービスの充実
- ・読書活動の推進（講演会等）
- ・山上憶良短歌募集（全国からの募集）

5 重点施策の実績と評価

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
倉吉市教育の創造	第2期倉吉市教育振興基本計画の進ちよく管理(5年計画の3年目)	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画に基づく重点施策実施計画の策定 教育に関する事務の点検・評価の推進 	教育総務	教育行政の点検・評価を行うとともに、実施計画を作成、10月に進捗状況を確認、3月に各課による自己評価を行った。	B	B	<p>○各施策について、概ね当初の計画どおり実施することができた。</p> <p>○各地区の代表者の方々と意見交換を重ねてきた。調整の結果、適正配置協議会委員名簿の未提出の地区からも、3月末には名簿を提出していただいた。4月以降、小学校適正配置協議会を立ち上げ、協議を進めていく。</p> <p>* 成果指標 A：学校統合準備委員会設立 B：適正配置協議会設立 C：進展なし</p> <p>○小中学校の安全対策として、ブロック塀等及び空調設備について、予算の補正を行い、対応することができた。</p>
	倉吉市教育委員会の活性化	<ul style="list-style-type: none"> 倉吉市教育の方針の明示 住民の意向や教育現場の実情の把握 総合教育会議の充実 教育委員の活動の顕在化 	教育総務	学校計画訪問、諸行事へ積極的に参加した。また、計3回のリレーコラムや教育委員会定例会、市長との意見交換の場である教育総合会議を2回開催し、その会議録等をホームページに掲載し、情報発信に努めた。	B		
	「倉吉市立小・中学校の適正配置等について」に基づく学校再編の推進	<ul style="list-style-type: none"> 適正配置の課題の整理と各地域・関係団体との協議の実施 	学校教育	<ul style="list-style-type: none"> 関係地区との協議、意見交換を重ねてきた。今後の進め方について、全体会を開催して理解を得、来年度から協議を進められるように準備・作業を行った。 	C		
	学校教育施設・教育施設の整備運営	<ul style="list-style-type: none"> プール改修工事(上北条小、上灘小、久米中) 屋根雨漏り改修工事(東中屋体、西中トイレ、久米中管理棟) 西中屋体トイレ排水管改修工事 鴨川中寄宿舎床タイル改修工事 長寿命化計画策定に係る調査 エアコン設置(高城小特別支援教室) (新)ブロック塀等改修工事 ICT機器整備(PC教室等教育用LANシステム含む)整備計画の策定ほか 	教育総務	<ul style="list-style-type: none"> プール、屋根、トイレ排水管並びに鴨川中寄宿舎床タイル改修工事については、年度内に完成し当初の目的は達成できた。 施設修繕ならびにPC整備等については、予算の範囲内において可能な改修、更新を行うことができた。 ICT機器整備に係る計画策定は、3回検討委員会を開催し検討・継続することができた。 年度中新規で小中学校のブロック塀等安全対策事業を計画し、改修工事実施に向けてブロック塀等改修設計業務を繰越契約することができた。 	B		

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	2 学力向上の推進	1	・学力向上推進の支援（小・中連携教育の推進、合同研修会）	学校教育	・各中学校区で講師を招聘した研究授業及び研究会を実施している。 ・各中学校区ごとの課題に基づき、授業実践を行った。その上で小中連携の成果と課題を明らかにした。	B	<p>○全国学力・学習状況調査においては、小学校算数の活用問題が全国平均をやや下回った。中学校においては、国語、数学の活用問題がやや下回っている。</p> <p>*成果指標 A：全国平均より5ポイント以上上回る B：全国平均と概ね同程度 C：全国平均より5ポイント以上下回る</p> <p>○全国学力・学習状況調査結果をもとに、市内の小中学校が授業改善に向けた授業研究を積極的に行うようになっていく。</p> <p>*成果指標 A：全小中学校が授業改善に向けての取組を行う B：13校/18校が授業改善に向けての取組を行う。 C：12校以下</p> <p>○小学校においては、積極的に県事業を受け、全国学力・学習状況調査結果の分析から、授業改善の視点を明確にした取組がなされるようになってきた。</p> <p>○平成32年度、英語の教科化に向け、各小学校が英語の授業を先行実施をしている。</p> <p>*成果指標 A：全小学校が先行実施の取組を積極的に行った。 B：9校/13校以上が先行実施の取組を積極的に行った。 C：先行実施の取組を積極的に行った学校が8校以下</p> <p>○成徳、明倫、灘手小学校においては、英語専科教員を1名配置（兼務）し、英語の授業を実施している。配置校だけでなく、市内小中学校の先生方に研修の機会を持つことができた。</p> <p>*成果指標 A：子どもの意識（好き）90%以上 B：子どもの意識（好き）85%以上 C：子どもの意識（好き）85%より低い</p>
		2	・わかる授業のための授業改善（教職員の指導力の向上）	学校教育	・全国学力・学習状況調査結果の分析から、授業改善の視点を明確にして日々の実践に活かす取組が見られた。 ・要請訪問指導助言19回	A	
		3	・細やかな指導を行うための体制づくり（少人数学級・教員加配）	学校教育	・7校に加配を配置。学校、学年、学級の実態に応じた少人数指導を実施。 ・今後、より効果的な少人数指導のあり方について、校内研究推進と連携しながら継続検討していく必要がある。	B	
		4	外国語教科化の対応（小学校・中学校）	学校教育	・小学校における外国語専科教員を配置し、明倫小・成徳小・灘手小の3年生から6年生までの授業を担当していただいた。積極的に授業公開をし、配置校のみならず、市内小中学校の先生方に研修の機会を持っていただいた。 ・イングリッシュ・シャワーームは最終年度となり、授業での活動作りを参加された先生方にして頂いた。 ・全てのALTの先生方が希望された学校に順番に集結し、授業に参加される行事を立ち上げた。概ね好評だが、今年度は参加校が少なかった。来年度はより多くの学校に参加していただけるよう啓発していきたい。	A	

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	豊かな心とたくましい体の育成	1	・人権教育の充実 (育てたい資質・能力を明確にした実践)	学校教育	「特別の教科道徳」の教科化に伴い、「年間指導計画の改善」に取り組んだ。教科としての特性を活かしながら、身につけさせたい資質・能力をまんべんなく年間計画に取り入れることを確認した。また、新教育長による講話では、部落問題学習を全小中学校で取り組む大切さを確認した。	B	<p>○人権教育の取組については、各地域の考えもあり、学校の取組に温度差（部落差別の問題）が出てきている。</p> <p>○人権教育の取組については、教育課程全般で人権意識を育てようとする学校が多くなっている。</p> <p>○「特別の教科道徳」については、特に混乱もなく学校現場に導入することができた。</p> <p>*成果指標 A：円滑に実施できた 13校/13校 B：円滑に実施できた 9校/13校 C：円滑に実施できた 8校以下</p> <p>○不登校の出現率が昨年とほぼ同じである。西中学校区においては、西中学校、小鴨小学校が不登校児童生徒数を減らすなど成果をあげている。</p> <p>*成果指標 A：児童生徒数10%減 B：児童生徒数5%減 C：5%より低い減少</p> <p>○いじめの認知件数が多く、問題の早期解決につながっている。</p> <p>○問題行動の件数が前年度と比較し、40件減少している。</p> <p>○性教育講座については、全中学校で実施。喫煙防止教室については、小学校4校、中学校1校が未実施である。全学校で実施するよう働きかけが必要である。</p> <p>*成果指標 A：全小中学校実施 B：昨年度並みの 学校数が実施 C：昨年度より学校 数が少ない</p> <p>○各関係機関と連携のもと、倉吉市通学路の安全確保に係わる連絡協議会で改善必要場所について協議を行い、概ね改善に向けての取組ができた。</p> <p>○体力テストでは、全体としてはB評価であるが、学年、男女別では課題がある。</p> <p>*成果指標 総合判定でA～C判定が80%に達する学年（男女別）の割合 A：全小中学年の12/18以上 B：全小中学年の7～11/18 C：全小中学年の6/18以下</p>
		2	・道徳教育・体験活動の充実（乳幼児ふれあい事業）	学校教育	・小学校で教科道徳が始まった。各校で研修を積み重ねて評価に繋げていただいた。 ・小学校13校が年間2回の乳幼児とのふれあい会を児童センター等と連携して実施した。中学校5校は、家庭科の学習の中で保育体験を実施した。乳幼児の成長に驚きと喜びを感じ、自分も大切に守り育てられてきたことを実感することができた。	A	
		3	・相談体制の充実、いじめや問題行動の未然防止、（倉吉市いじめ防止基本方針の徹底、不登校対策）	学校教育	・不登校・いじめの未然防止に資するため、初めて「教育相談研修」を実施した。参加対象を、管理職、養護教諭、教育相談担当教員、心の教育相談員、生徒指導主事と、回によって変え、それぞれの立場で教育相談を考える契機にいただいた。 ・スクールソーシャルワーカーが、児童生徒を取り巻く環境をよく理解し、働きかけることで難しいケースが上向くことがあった。 ・長期欠席児童生徒数小学校28名（前年度比±0）、中学校60名（前年度比-4）12月末 ・子ども支援センター入級児童生徒7名 ・本当の未然防止ができるよう、学校に働きかけていきたい。	B	
		4	・たくましい体の育成（体育、健康教育、学校保健の充実、安全教育の充実）	学校教育	・喫煙防止教育を小学校9校、中学校4校実施。 ・性教育講座中学校5校実施。 ・新体力テストの結果でおおむね良し（A～C）と判定される児童生徒の割合。小学校中学校調査中 ・保健体育授業以外に、小学校では業間休憩での運動、中学校では部活動等体力作りに励んだ。 ・猛暑の中の活動では細心の注意を払っていたが、2件の救急搬送があった。 ・中学校の運動部活動ではのべ98名が中国大会、全国大会へ出場した。	B	

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	4 倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成	1	・倉吉独自の教材づくりの推進（くらよし風土記の活用）	学校教育	・今年度初めて、2中学校で倉吉検定を実施できた。	B	<p>○倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成のために、土曜授業等において中学校版「くらよし風土記」、小学校版「わたしたちの倉吉」の活用を行った。</p> <p>○倉吉検定を実施したが、最高得点が60点程度であり、倉吉に誇りと愛着をもつ子どもの育成のために、さらなる取組が必要である。</p> <p>○各小中学校がそれぞれの教育課程にあわせて、市内にある多くの施設等を見学し、施設の役割や働く人たちの思いを学んだ（市バス利用）。</p> <p>○平成30年度、土曜授業の実施4回。倉吉市立小中学校で実施。</p> <p>○小中学校とも、「ふるさと学習」を意識した取組となるよう創意工夫を行った。</p> <p>○菜の花プロジェクトを通して、小中学校間や地域、関係機関との連携を図った取組が進められた。今後、淀屋サミットに地域学校委員にも参加してもらうなど、さらに実効性を高めたものにしていきたい。</p>
		2	・地域の人・もの・ことがらに触れる教育活動の推進	学校教育	・各小中学校がそれぞれの教育課程にあわせて、市内にある多くの施設等を見学し、施設の役割や働く人たちの思いを学んでいる。体験学習も取り入れられており、児童生徒がふるさと倉吉への思いを深め、関心を高める一助となっている。	A	
		3	・土曜授業の実施（ふるさと学習を中心とした地域との共催）	学校教育	・各学校が創意工夫をして地域・保護者と協働した活動を展開していた。「ふるさと学習」を意識した取組となるよう周知し、ふるさとについて改めて知ったり考えたりする機会となった。	A	
		4	・倉吉らしさを取り入れた教育活動の実施	学校教育	・今年度で10年目となり、学校が主体となって地域を交えた取組が定着してきた。今年度は、中学校区での共通実践に取り組んだ。	A	

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価	
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	5 家庭・地域と連携した開かれた学校づくり	1 ・開かれた学校づくりの推進（学校評価の効果的な活用）	学校教育	・概ね計画どおりに実施した。学校のウェブページも児童生徒の活動の様子が保護者や地域の方に発信されている。	B	A	<p>○学校公開を市内小中学校で6月に実施した。2学期については、各校が独自に実施した。</p> <p>*成果指標： 児童生徒の活動の様子を公表 A：全小中学校 B：12校/18校以上の小中学校が公表 C：11校以下</p> <p>○学校地域連携の取組は、各地域の実情を踏まえ充実した取組がなされるようになった。一方で、地域からの支援だけでなく地域への支援といった学校の地域参画も必要である。</p> <p>*成果指標 A：各地区行事の参加率80%以上 B：各地区行事の参加率60%以上 C：各地区行事の参加率60%より低い</p>	
		2 学校地域連携の取り組み推進（子どもの出番づくり）	学校教育	・13地区で「教育を考える会」を実施。各地区において子どもの成長を考えた内容のものが実施され、熱心に協議等が行われた。	A			
		3 ・学校運営に参画する体制づくり（地域学校委員会の充実）	学校教育	・各学校の地域学校委員会が地域の特色を生かして活動し、地域と学校との連携がより強化されてきた。	A			
	6 よりよい倉吉教育を目指して		1 ・特別支援教育の充実（児童生徒を支える学校体制づくり）	学校教育	・まなびの教室教育相談から就学前発達・教育相談会に変更したことによって、より多くの相談を受けることができ、就学予定の小学校との共通理解にもつながった。 ・教科指導法研究事業では体育科の実践を行い、市内1年生担任対象に研修を深めることができた。	B	B	<p>○就学前発達・教育相談を実施することによって、より多くの相談を受けることができた。</p> <p>*成果指標 A：相談件数各校平均5件以上 B：相談件数各校平均3件以上 C：相談件数各校平均3件より少ない</p> <p>○核家族化、少子化、地域における地縁的なつながりの希薄化など、家庭や家族を取り巻く社会状況の変化の中で、家庭の教育力の低下が課題として残る。</p> <p>○今後、保護者の我が子に対する意識を何らかの方法で測って把握し、効果的な取組につなげていきたい。</p> <p>○新入学学用品費については、昨年度からの懸案事項であった2月中の支給を行うことができた。</p>
			2 家庭教育の充実（研修機会の拡大）	学校教育	・小P連・中P連との共催により教育講演会を開催して4年目となった。講師にFCカミノ代表吉川氏を迎え、親子ともに笑顔で子育てをするために大切なことを学んだ。	B		
			3 ・教育助成の充実（就学援助事業の周知と適切な執行）	教育総務	・新入学学用品費の就学前支給を昨年度より早い2月末に行った。 ・特別支援教育就学奨励費を当初より早い時期に支給することができた。	A		

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
豊かな心とたくましく生きる力をもつ子どもの育成	7 学校給食の充実、食育の推進	1 栄養教諭等による食に関する指導	給食センター	給食主任や学級担任等と連携しながら、望ましい食習慣の定着につながるよう、栄養教諭・学校栄養職員による全学級訪問指導を計画どおり183回実施した。 「親子で学ぶ食の教室」については、計画どおり給食センターで20回実施した。	A	A	○小中学校9年間を通じて計画的な指導を行うことにより、児童・生徒の「食に対する理解と関心」を深めることができた。 ○調理業務の衛生管理等を徹底することで、安全・安心な給食の提供につなげることができた。 ○児童・生徒全員を対象とした食物アレルギー用献立表や、給食センターで食物アレルギー対応をしている児童・生徒の個別献立表で情報提供を行い、学校教育課・学校現場・保護者と連携しながら食物アレルギー事故の防止を図ることができた。
		2 学校給食衛生管理基準に基づいた衛生管理の徹底	給食センター	学校給食衛生管理基準に基づく、調理業務の衛生管理等について、工程表等を確認しながら委託先の責任者と協議し随時指導を行った。	B		
		3 食物アレルギー対応の推進	給食センター	給食センターが食物アレルギー対応している児童・生徒の保護者、教職員等を対象とした研修会を開催し、関係者が共通認識を持って対応にあたることを確認した。	A		

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	8 地域力を育む社会教育の推進～現代的及びライフステージに応じた学習機会の充実～	1 成人式（成人式実行委員会、中学生ボランティアによる運営）	生涯学習	<ul style="list-style-type: none"> ・前年の成人式における一部の新成人や保護者等による妨害行為への対策を講じ、何事もなく式を終えることができた。 ・実行委員が主体となって成人式（実行委員会）企画の準備・運営に取り組み、成人式を成功させた。 ・実行委員会の仲間作りや企画検討時に身近な存在であるOB・OGに加わってもらったことで実行委員の成人式に対する緊張が和らぎ、活発な活動への促進に繋がった。 ・昨年度に引き続き、高校生にもボランティア募集し中学生とともに運営を行なった。 実行委員 14名 実行委員OBOG 5名 中学生ボランティア29名 高校生ボランティア4名	A		<p>○昨年からの課題であった成人式の警備体制の充実を図り、何事もなく式を行なった。</p> <p>実行委員としての経験が後輩の成人式実行委員会の支援に繋がるよう、また社会人になってからも助け合える仲間作りに繋がるよう、成人式を核にした若者の新たな世代を繋ぐ機会となるよう引き続き事業を展開していきたい。</p> <p>○各種講座は、昨年度に引き続き地域課題を意識しながら実施。学習成果を地域の活動に活かせる内容とした。特に生涯学習講座では知識を深めるだけでなく、県立美術館の建設に向けて参加者の意識を高める契機となった。また、第3回講座では高校生など若い世代が将来について考える機会となった。</p> <p>○看大・鳥短公開講座、鳥大講座ともに、地域の課題と大学の専門性の均衡を図った学習機会の提供でもって、参加者の学びが深まった。外部講師も招き、全講座を通して50人以上参加者が増加した。</p> <p>○社会教育関係課連絡会により、事業の共有及び連携を図ることで、事業内容の充実と効率化に繋げることができた。</p> <p>○女性が企画や運営に関わることで主体的な学びとなった。また参加者同士の情報交換などで課題を共有し、さらに学びを深めることができた。</p>
		2 各種講座開設 専門・実践的な高等教育を受ける機会確保（鳥取看護大学・短期大学・倉吉市連携講座、生涯学習講座、鳥取大学連携講座、人材銀行、女性連絡会）	生涯学習	<p>【看大・鳥短公開講座】「学び続けて生きる」をテーマに、自然・人との関わり・地域・文化などを学ぶ講座を実施。全体的に参加者が増加し、学びの機会となった。</p> <p>【生涯学習講座】「美の匠」をテーマに、全4回講座と市内研修を行った。文化芸術に親しみ、郷土に愛着と誇りを持つきっかけとするというねらいが達成された。第3回講座では、高校生に司会や受付を行ってもらった。これに加え、県と連携して「若者講座」を実施。市内外の若者が学習・交流を図る取り組みとなった。</p> <p>【人材銀行】講師活用の費用面を見直し、利用者に分かりやすい手引き作成をした。また、自治公民館連合会等でPRを行い活用の拡大に努めた。</p> <p>【女性教育】各中学校区での活動及び全市における研修を行い、学びを通じた参加者の交流も図ることができた。</p>	A		

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	9 支えあう人づくり・輝くまちづくり～絆づくりや地域のコミュニティ形成に向けた学習活動の推進～	1 青少年の健全育成と青少年団体の育成支援（子ども会・ものづくり道場・伝統文化体験教室）	生涯学習	<p>【子ども会】倉吉市子ども会育成連絡協議会が実施する研修会に加え、鳥取県子ども会育成連絡協議会等が実施する研修会にも参加者が多く、児童や保護者間で子ども会活動への理解や取り組み方が広がった。またサマースクール団へ倉吉から7名の生徒を派遣した。</p> <p>【中部地区社会教育担当者会】中部地区の市町で役割分担しながら共同で青少年対象の事業を実施した。</p> <p>【ハイスクールフォーラム】各高校の特色ある活動や取り組みの発表と地域住民や中学生との意見交換を行った。昨年度を上回る参加者があり、満足度も高かった。</p>	B		<p>○「子ども主体による子ども会運営」とする子ども会のあり方等を研修会で取り上げ、子ども会の活動支援に繋がる事業が実施できた。また、サマースクール団への派遣を通して、国際理解が深まり、国際交流が図られた。</p> <p>○異なる地域や学校の青少年が、ともに自然の中で体験活動を行うことで、仲間作りや自然の大切さを学んだ。</p>
		2 放課後子ども教室推進事業（子どもいきいきプラン、通学合宿）	生涯学習	<p>運営委員会を2回実施。事業内容と進捗を確認した。各地区における放課後子ども教室については、市内で15教室（13地区、関金まなび教室、関金わくわく教室）、年間を通して実施した。</p>	B		<p>○地域住民や中学生に、高校生の活動や取り組みだけでなく、社会や地域に対する高校生の考えを知ってもらう機会となり、今後の地域との連携につながる契機となった。</p> <p>○放課後子ども教室を通して、子どもの居場所づくりと、子どもと地域住民との交流を促すことができた。天候等で中止となる事業が多かった。運営委員会では、各地区の取り組みについて情報共有を行った。</p>
		3 倉吉地区少年補導センター事業への参画、青少年育成協議会との連携	生涯学習	<p>【倉吉地区少年補導センター】倉吉地区少年補導センターの事業に関する協議や情報交換を行なう運営委員会を年6回、予算や事業計画について協議する評議員会を年2回実施した。また、市町の定期的な街頭補導に加え、青少年関係者の研修会への参加、啓発に努めた。</p> <p>【倉吉市青少年育成協議会】あいさつ運動や研修会への参加に加え、啓発活動に取り組んだ。</p>	B		<p>○補導対象事業や街頭補導を実施した。非行や犯罪被害の低年齢化が進む中、様々なキャンペーン活動等を通して啓発を行った。インターネットを通じ青少年が被害者になる事件が県内でも発生したことを受けて、第2回評議員会では各団体の取り組みについて情報共有を行い、今後の啓発活動への手掛かりを得た。</p>

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	10 公民館活動の推進 ～学習の質向上と学習成果の活用～	1 学習の質向上と学習成果の活用（公民館と地域振興の連携）	生涯学習	館長研修会や主事研修会を定例的に実施し、公民館職員としての質の向上を図った。主事が主体的に課題解決に取り組む研究部会では、地震対応マニュアル（初動期）の作成、事業報告様式の検討及び講師リストの作成、各種団体との連携を表に整理し見える化を行った。各部会での研究成果は全体で共有した。市公連・館長会と連携し、主に公民館事業の充実・課題解決等について検討・議論した。	A		<p>○公民館事業が全国でも高い評価を受けており、実践発表の機会を通じてその事業や活動内容を県内外の社会教育関係機関等に発信した。</p> <p>○公民館まつりを通して、各地区公民館の取り組みを市民へ周知することができた。</p> <p>○公民館報のHP掲載を続け、公民館情報を広く発信している。</p> <p>○地区公民館が現在担っている機能の所管課が集い検討した。引き続き検討を進めていく。</p> <p>○安全で安心な公民館施設の維持管理に努めた。早急に対応が必要な課題について専門部局と確認・協議を実施し、公民館と連携しつつ業務を遂行した。</p>
		2 人づくり・地域づくりの推進（公民館研究指定事業）	生涯学習	【公民館研究指定事業】13地区各公民館において、青少年学級、地域づくり講座、健康づくり講座等それぞれの地域課題解決につながる学習機会の提供を行った。住民が企画や運営に関わることにより主体的に取り組むことができた。優良公民館表彰において全国で5館の優秀館に選ばれた上北条公民館は、地域の担い手不足の解消に向け、将来の地域リーダー育成を目的に実施した青少年学級が高く評価された。	A		
		3 公民館のあり方検討	生涯学習	行財政改革のうち、施設のあり方に係る検討について、関係部署が集い数回にわたって協議を進めた。	B		
		4 安全安心な施設整備（空調整備（西郷、北谷））	生涯学習	大規模な修繕はなかったが、利用者の安心で安全な利用を促進するため、老朽化等の課題に対しアイデアを出し工夫しながら対応した。	B		

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	11 体育・スポーツの振興	1 スポーツ推進に関する重要事項の調査審議	生涯学習	<p>【スポーツ推進審議会】委員改選により新体制での開催となる。オリンピックが近づきスポーツを取り巻く環境は大きく変化していることから、今後は年2回の開催する。</p>	B	B	<p>○計画していた事業の連動及び各種団体の実態調査は進んでおらず、概ね昨年どおりの事業内を実施しただけであった。このため来年度も、今ある事業を再度見直し、事業ごとの連携を高めていくことを計画する。また、各種団体の実態調査を行い基礎資料を作成し、市民がスポーツに親しみ楽しみながら努力できる環境の創出を研究する必要がある。</p> <p>○大規模スポーツコンベンションは、個々の事業を一過性のものとするのではなく、「スポーツ振興を通じて地域の活性化を図る」の視点をもって、ソフト事業の具体的企画・立案を関係団体と進めていくことが必要である。</p>
		2 スポーツ活動機会の充実(地域スポーツの振興)	生涯学習	<p>【女子・日本海駅伝】両駅伝大会は台風の接近により大会史上初の中止とした。中止の判断のガイドラインの作成が今度の課題である。</p> <p>【ニュースポーツ交流会】スポーツ推進委員が主催する事業と連動させたことで昨年度の13チームを上回る30チーム114名参加があり世代、地域を超える交流の場として進展した。</p> <p>【市民体育大会】異常気象による高温の中開催し、熱中症等事故なく開催できたが今後も同じような課題が出てくると思われる。参加者が年々減少し今後の大きな課題となっている。</p> <p>【各種協力大会】今年度は、アジア規模の大会も開催され、多くの市民がスポーツ活動のきっかけとなっている。しかしイベント後のフォローアップ的な事業が無いことから今後は大会後の事業展開を関係団と検討する必要がある。</p>	B		
				<p>本年度よりスポーツ推進委員が中心となって各地区でスポーツ教室(ファミリーバドミントン)を開催。ニュースポーツ交流会には昨年度の13チームを上回る30チーム114名の参加があり、地域スポーツの振興に大きな役割を果たした。</p>	B		
				<p>【各種補助】 ・児童・生徒全国大会補助金2/20現在で19件であり昨年度末22件を下回った。</p>			
				<p>【学校開放】 ・例年と変わらず30,000人を超える利用者があり、地域スポーツの振興に寄与している。利用者間のトラブル(相手を誹謗中傷する)も見受けられた。</p>			
				<p>【海洋センター】 ・記録的猛暑や台風等の影響により利用人数が1,307人とH度実績1,922人を下回った</p>			

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	11 体育・スポーツの振興	3 スポーツ指導者の養成・団体の育成	生涯学習	<p>【体育協会】</p> <p>市民体育大会を7月と10月に開催。天候にも恵まれけが人もなく終了した。しかし、参加人数が年々減少しており、更なる参加の促進を行う。市HPや各団の協力をお願いしたい。天候不良により中止になった大会もあったが概ね予定どおりに開催。各団の情報公表・更新は出来ていない。スポレクも学校、団体を中心に参加があり多くの方がスポーツに親しめたのではないかと思います。スポーツ表彰は市民栄誉賞とふるさと大賞との共催で行った。例年よりも少ない人数であったが受賞者への励みになった。受賞者の中で受賞の内容が間違っていたり、受賞対象だったのではというような内容のメールも届いていたのでチェック体制をしっかりとし、来年度はより良い式となるように準備する。</p> <p>【スポーツ推進委員】</p> <p>概ね計画どおりに進んだ。スポーツ教室をスポーツ推進委員事業として取り組み、ファミリーバドミントン教室を各地区で開催した。ニュースポーツ交流会には昨年を大幅に上回る合計30チームの参加があった。体力・運動能力測定は悪天候のため中止した。</p>	B	B	<p>○多様化するスポーツ活動に対応するためには、体育協会加盟各団の現状を把握するとともに、体育協会としてのビジョンを定め、現在の体育協会に必要な変化を検討する。また、調査に合わせて住民ニーズを把握し、現在の協会活動内容と比較検討することで、事業の方向性、各団体への支援、指導者確保等スポーツ推進に繋がる各事業の整理統合、新設を行うことを計画する。</p> <p>○スポーツ推進委員の主体的事業展開を図るため、地域スポーツ教室を全市統一、ニュースポーツ交流会を発表の場とすることで多くの市民に参加いただけことは評価できる。しかし、ニュースポーツ等誰でも気軽に参加できるスポーツ活動環境整備には、さらに一歩踏み込んだ事業展開が必要であり、現在の動きを一過性のものとしないうちにも、来年度は推進委員協議会と協議しスポーツ推進委員独自で活動できる体制の構築を図る。</p>
				<p>【スポーツ少年団】</p> <p>概ね計画どおりに進めることができた。スポーツ少年団員も数が減ってきており、チームが組めない場合があったりと、今までと同じような大会の進め方で良いのかという課題もある。市の携わる大会以外での試合も多数あり、試合を組み入れるのも難しくなっている。大会のあり方を再考する時期にきているのではないかと考える。</p>			<p>○子ども達のスポーツ活動において、昨今ケガや故障の事例が多く報告されている。また、試合数が多いことがケガ等に繋がっているとの事例もあるため、次年度以降スポーツ少年団の事業を見直すとともに、指導者の意識改革を含む研修等を充実させる。</p> <p>○児童数、指導者の減少にとともに子どものスポーツ機会が少なくなっている。このためチーム等のあり方も検討し、多くの子どもがスポーツ活動に親しめる環境を推進する必要がある。</p>
		4 体育施設の整備充実	生涯学習	<p>バックスクリーンとスコアボードを一体で発注する予定であったが危険性の高いバックスクリーンを単体で発注した。社会資本整備交付金の関係でスコアボードも3月から設計業務に着手</p> <p>【安定器取り換】</p> <p>関金野球場の照明を修繕し、利用者の利便性を向上させた。</p> <p>【体育施設修繕】</p> <p>緊急度の高い物から順次修繕した。</p>	B	B	<p>○震災復旧の最終となる射撃場の工事が完了したことで、今年度から各施設通常利用が可能となったが、利用者は現在も震災前の水準に回復していない。このため、各施設の利用促進を指定管理者と共に計画・実施する必要がある。なお、復旧した施設の維持補修は適時実施していく。</p> <p>○次年度も緊急性の高いものから順次実施する。</p>
		5 災害復旧	生涯学習	<p>・地震で被災した射撃場の修繕が完了し6/14から使用を再開した。</p>	B		

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	12 文化財の保存、活用、伝承	1 伝建地区の保存（修理・修景事業、保存計画の策定）	文化財	<ul style="list-style-type: none"> 被災した241棟に対し156棟（64.7%）まで工事完了。くら用心の土蔵の修理完了。 災害復旧事業は建造物の健全化だけでなく、耐震補強を11棟実施し、保存地区全体の防災力向上を図った。 修理事物を公開し、柱の根接ぎ、基礎工事、建物の立て起こしの状況を見てもらい、伝建修理の理解を図った。 災害復旧事業－24棟だけでなく、2ヶ月休止していた通常の修理・修景事業－7棟の31年度計画を作成した。 	B		<p>○伝建地区の災害復旧事業は平成28年度から2カ年終了したが、当初計画の3年間では修理が完了しない見込み。</p> <p>○所有者の修理要望に対応しながら、耐震補強の補助を進め、地区全体の防災力向上を図ることができている。</p> <p>災害復旧事業だけでは修理困難な案件について、通常の修理・修景事業を31年度に計画することで対処できた。</p> <p>○伝建地区は観光資源としての側面があり、所有者とともに修理・活用方法を継続して検討していく。</p>
		2 市内に存在する文化財の調査と保護 文化財の積極的な情報発信 埋蔵文化財の調査（試掘調査・発掘調査）	文化財	<ul style="list-style-type: none"> 大御堂廃寺跡保存活用計画は、史跡の本質的価値を抽出し、大綱までの素案を作成した。 小川家住宅・小川氏庭園、桑田家住宅の修理は番付や工法の検討など文化財調査を行いながら適切に行った。所有者の意向を確認しながら、文化財的価値を損なわないよう修理の年次計画を立てた。 文化財パンフレット『倉吉文化財さんぽ』を作成・配布、「満正寺所蔵地蔵菩薩立像」の看板を作成し、文化財啓発に役立てることができた。 両長谷遺跡の発掘調査では、弥生時代後期の集落跡（竪穴住居9棟）が見つかった。うち、1棟は焼失住居で、建築構造の情報を得ることができた。 石塚・福山地区の試掘調査では、古代条里を確認し、石塚廃寺跡に関わる遺物が出土した。 予定していなかった個人造成の案件に試掘調査を入れて対応できた。 	B	<p>○小川氏庭園の南山荘、桑田家主屋の解体調査により修理中に得られた資料を整理しながら、修理工事をすすめ、31年度計画へ繋げた。小川氏庭園の33年度公開を目指していく。</p> <p>○南山荘の解体調査時にはヘリテージマネージャーの研修会場となり、建築士や文化財担当者の文化財修復の考え方を学ぶ機会となった。</p> <p>○文化財パンフレットを創意・工夫して作成し、文化財啓発に役立てることができた。</p>	

項目	重点施策	主な施策	担当課	実績	実績評価	施策評価	最終評価
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	13 親しみ学ぶ機会の提供できる博物館	1 郷土の文化芸術、伝統文化を学べる場の提供	博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり進行した。 ・郷土刀展の開催は、未着手の分野であったが、協力者等の指導・助言により実施でき、展示の仕方など多くの入館者に好評を得た。 ・館外展示や郷土ゆかりの物故作家の顕彰も進めた。 	A	A	<p>○平成30年度は、約3年ぶりに年間を通して開館することが出来た。平成27年下半期からの耐震補強工事、災害復旧工事等に伴う休館が続いたためである。賑わい創出の春の催事にはじまり、市展・県展・創作文華展の開催、年間10回の博物館講座の実施、郷土刀展の企画と展示、普及事業等、例年にも増して多彩な展示活動及び普及活動に取り組んだ。</p> <p>○トリエンナーレ美術賞が第10回の節目を迎えた。前田寛治大賞の認知度は年を追って増している。若手洋画家の育成の場としても期待が大きい。10回展を一つの区切りとし、県立美術館の整備に伴い、今後の事業の進め方を協議していくことが求められて来る。</p> <p>○開館45年を迎え施設の老朽化が著しい。例年どおり鑑賞環境の整備に務めた。</p>
		2 トリエンナーレ美術賞（前田寛治大賞）の実施	博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり進行した。 ・創設30年の節目となる第10回展として、前田寛治大賞を振り返るトークイベントを実施し、美術賞の開催意義について理解をふかめることが出来た。 	A		
		3 災害復旧工事と施設改修工事	博物館	<ul style="list-style-type: none"> ・日程を変更した業務もあったが当初どおり実施した。 ・老朽化した機器類等の修繕を行った。 ・中長期改修計画の策定は中途のまま据え置きとした。 	B		
倉吉を担う人づくり・まちづくりの推進	14 豊かな心を育む図書館づくりの推進	1 図書館資料の収集提供、レファレンスサービスの充実	図書館	<p>話題になっている事柄や時期を得たテーマの展示を工夫しながら数多く実施するとともに、資料を収集し読書への関心を高めた。レファレンスの技術を高めるため研修・事例学習を継続している。</p>	B	B	<p>○県、市、他の図書館、商工会議所などと協力し合い話題性のある展示を実施した。</p> <p>○読み聞かせの普及に効果があるブックスタートや小中学校と連携した絵本作家講演会は好評で、来年度以降も継続して実施し読書活動の啓発に役立てたい。</p> <p>○3回目の全国公募となった山上憶良短歌募集事業は昨年度以上の応募があり、県外からの応募が地元を上回るなど次第に全国大会の様相が整いつつある。今年度も全国・海外の方に倉吉の元気をPRすることができた。</p>
		2 読書活動の推進	図書館	<p>好評のブックスタートは今年も円滑に実施できた。絵本作家講演会を行い多くの市民に喜んでいただくとともに、引き続き小学校・中学校各1校と連携してワークショップ・講演を実施し、子どもたちの想像力を刺激し、また将来の職業選択の参考とし読書意欲を膨らませることができた。他機関と協力し共催事業も多く実施し人気を集めた。</p>	A		
		3 山上憶良短歌賞全国公募・文芸活動の推進	図書館	<p>3回目の全国公募となった山上憶良短歌賞は応募数が5,518首と昨年度を上回った。国内のすべて47都道府県から応募があり、倉吉と山上憶良の活躍を広く喧伝することができた。審査もスムーズで事務も滞ることもなく進めることができた。</p>	B		

6 教育委員会の主な動向

(1) 教育長・教育委員の在任状況

(H31. 3. 31現在)

職名	氏名	年齢	就任年月日	任期	保護者
教育長	小椋 博幸	60	H30.10. 3	H33.10. 2	
教育長職務代理者	福井 真喜代	66	H30.10. 8	H34.10. 7	
委員	仲田 優子	58	H28.10. 5	H31.10. 4	○
委員	田民 義和	61	H28.10. 5	H32.10. 4	
委員	高橋 義博	56	H30. 1. 1	H33.12.31	

①委員の異動（市長が任命）

平成30年3月31日をもって福井伸一郎教育長が辞職され、同年4月2日付けで新たに小椋博幸氏が教育長として任命され、同年10月3日付けで再任された。

②教育長職務代理者の異動（教育長が指名）

仲田優子教育長職務代理者の辞任により、福井 真喜代委員が職務代理者に指名された。

(2) 教育委員会の会議

(H30. 4. 1～H31. 3. 31)

会議名	回数	備 考
教育委員会	14	議案27件、協議事項12件、報告事項203件

(3) 教育委員会の開催状況

4月25日第5回定例会

- 議 案（ 3件） 議案第14号 平成30年度教育費補正予算について
 議案第15号 倉吉市地域学校委員会委員の任命について
 議案第16号 鳥取県中部地区教科用図書採択協議会の倉吉市教育委員会
 が選出する採択協議会委員の承認について
- 協議事項（ 2件） 平成29年度倉吉市の重点施策の実績及び評価について
 平成30年度倉吉市の重点施策に基づく実施計画について
- 報告事項（15件） 教育長報告ほか14件

5月30日第6回定例会

- 議 案（ 2件） 議案第17号 倉吉市教育行政の点検及び評価について
 議案第18号 平成30年度教育費補正予算について
- 協議事項（ 2件） 倉吉市安全衛生推進協議会について
 倉吉市立小・中学校適正配置について
- 報告事項（13件） 教育長報告ほか12件

6月28日第7回定例会

- 報告事項（17件） 教育長報告ほか16件

7月30日第8回定例会

- 協議事項（ 1件） 広瀬分校について
報告事項（20件） 教育長報告ほか19件

8月24日第9回定例会

- 議案（ 2件） 議案第19号 平成31年度から使用する小学校教科用図書（「特別の教科道徳」を除く）及び中学校教科用図書（「特別の教科道徳」）の採択について
議案第20号 平成30年度教育費補正予算について
報告事項（22件） 教育長報告ほか21件

9月25日第10回定例会

- 協議事項（ 1件） 土曜授業について
報告事項（13件） 教育長報告ほか12件

10月29日第11回定例会

- 協議事項（ 1件） 平成30年度倉吉市教育委員会重点施策に基づく実施計画の進捗状況について
報告事項（19件） 教育長報告ほか18件

11月28日第12回定例会

- 議案（ 5件） 議案第21号 平成30年度教育費補正予算について
議案第22号 倉吉市公民館の指定管理者の指定について
議案第23号 倉吉市体育施設の指定管理者の指定について
議案第24号 倉吉市関金農林漁業者等健康増進施設の指定管理者の指定について
議案第25号 市立中学校教職員の処分について
協議事項（ 2件） 土曜授業の実施について
お盆の閉庁日設定について
報告事項（19件） 教育長報告ほか18件

12月6日第13回臨時会

- 議案（ 1件） 議案第26号 平成30年度教育費補正予算について

12月26日第14回定例会

- 議案（ 1件） 議案第27号 平成30年度末倉吉市学校教職員人事異動方針について
協議事項（ 2件） 土曜授業について
夏季休業中における緩やかな閉庁について
報告事項（13件） 教育長報告ほか12件

1月24日第1回定例会

- 議案（ 3件） 議案第1号 平成29年度教育費補正予算について
議案第2号 平成30年度教育委員会主要事業について
議案第3号 教育費当初予算について

議案第4号 市立小学校教職員の処分について

協議事項（1件） 平成30年度倉吉市教育委員会表彰について
報告事項（14件） 教育長報告ほか13件

2月20日第2回定例会

議案（1件） 議案第5号 消費税法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
協議事項（2件） 平成31年度倉吉市の教育方針と重点施策（案）について
小学校適正配置協議会設置要綱について
報告事項（13件） 教育長報告ほか12件

3月12日第3回臨時会

議案（1件） 議案第6号 平成30年度末倉吉市学校教職員人事異動について
報告事項（1件） 報告1件

3月26日第4回定例会

議案（6件） 議案第7号 平成31年度倉吉市の教育方針と重点施策について
議案第8号 学校医・学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について
議案第9号 倉吉市地域学校委員会委員の任命について
議案第10号 倉吉市立小学校及び中学校管理規則の一部改正について
議案第11号 倉吉市立中学校部活動指導員に関する規則の制定について
議案第12号 倉吉交流プラザの管理及び運営に関する規則の一部改正について
報告事項（20件） 教育長報告ほか19件

(4) 総合教育会議の開催状況

5月30日第1回総合教育会議

報告事項（1件） 平成29年度倉吉市教育行政の点検及び評価について
協議事項（2件） 平成30年度倉吉市教育委員会の重点施策に基づく実施計画について
英語教育の取り組みについて

12月26日第2回総合教育会議

協議事項（3件） プログラミング教育の取り組みについて
いじめと不登校問題の現状について
ICTの整備計画について

(5) 計画訪問・意見交換会・諸行事への参加

① 学校計画訪問

H30. 6. 29	北谷小学校計画訪問
H30. 7. 5	東中学校計画訪問
H30. 10. 3	明倫小学校計画訪問
H30. 10. 22	河北中学校計画訪問
H30. 10. 31	上灘小学校計画訪問

H30. 11. 7	関金小学校計画訪問
H30. 11. 13	小鴨小学校計画訪問
H30. 11. 20	上北条小学校計画訪問
H30. 11. 26	灘手小学校計画訪問

② 公民館計画訪問

H30. 10. 10	上井公民館計画訪問
H30. 10. 11	上北条公民館計画訪問
H30. 10. 11	北谷公民館計画訪問
H30. 10. 15	社公民館計画訪問
H30. 10. 16	上小鴨公民館計画訪問
H30. 10. 17	成徳公民館計画訪問
H30. 10. 18	高城公民館計画訪問

H30. 10. 22	関金公民館計画訪問
H30. 10. 23	灘手公民館計画訪問
H30. 10. 23	明倫公民館計画訪問
H30. 10. 24	西郷公民館計画訪問
H30. 10. 24	小鴨公民館計画訪問
H30. 10. 25	上灘公民館計画訪問

③ 意見交換会

H30. 11. 6	倉吉市小学校PTA連合会と教育委員との意見交換会
------------	--------------------------

④ 諸行事への出席

H30. 4. 3	転入新教職員宣誓式
H30. 4. 10	倉吉市立小中学校入学式
H30. 5. 12	倉吉市小・中学生淀屋サミット
H30. 5. 13	倉吉市小学校 PTA 連合会総会、倉吉市中学校・養護学校 PTA 連合会総会
H30. 6. 10	第64回倉吉市美術展覧会開会式
H30. 6. 13～ H30. 6. 14	小中学校一斉公開
H30. 6. 24	倉吉市美術展覧会表彰式
H30. 7. 9	鳥取県市町村教育委員会研究協議会 定期総会並びに研究大会
H30. 8. 4	鳥取県の郷土刀展開会式
H30. 7. 31	市町村教育委員会委員研修会
H30. 10. 6	南部忠平杯第 33 回くらよし女子駅伝・第 37 回日本海駅伝競走大会開会式
H30. 12. 8	菜の花プロジェクト報告会
H30. 12. 21	倉吉市公民館研究大会
H30. 12. 24	倉吉ハイスクールフォーラム 2018
H31. 1. 3	平成 31 年倉吉市成人式
H31. 2. 2	学校給食週間事業児童生徒作品展表彰式
H31. 2. 17	倉吉市体育協会スポーツ表彰式、日本海新聞ふるさと大賞表彰式
H31. 2. 21	打吹公園だんご教育奨励賞・倉吉市教育委員会表彰 表彰式
H31. 2. 24	第 63 回倉吉文芸表彰式
H31. 3. 11	中学校卒業式
H31. 3. 16	山上憶良短歌賞表彰式
H31. 3. 19	小学校卒業式
H31. 3. 24	第 42 回倉吉市創作文華展表彰式